

# おおとう未来広場 ～子どもの未来と地域の未来～

大任町 大任町教育委員会【公立公民館】 学校教育主事 高木 侑斗

## 1. 「おおとう未来広場」の概要

大任町教育委員会では子どもたちの「30歳の自立」と、それを核とした地域力の強化を目指しています。大任町放課後子供教室「おおとう未来広場」は平成27年12月から開始しました。この事業は、大任町立小学校の1～3年生の児童を対象に、次代を担う人材を育成するため、地域住民等の参画を得て、放課後に多様な活動を体験させるとともに、放課後の安全・安心な居場所を確保することを目的として、大任町教育委員会が主体となり、毎週水曜日の放課後に、大任町公民館の会議室で行っています。

## 2. 予算について

この事業は、福岡県放課後子供教室事業補助金を活用し、平成28年度の全体予算は約300万円で、100万円の補助金を頂き、実施しています。



## 3. 1つの大きな課題

おおとう未来広場は、平成29年2月で1年と3カ月が経過しますが、当初、この事業を始めるにあたり、1つの大きな課題がありました。それは、地域住民の参画をどうやって得るのか、ということです。教育への地域住民の参画は、文部科学省の「学校を核とした地域力強化プラン」にあるように、本町だけでなく、日本全体の大きな課題であり、また地方創生の核であります。



## 4. 大任町の現状

本町には、これまで、子どもたちが地域の大人たちと交流する場がほとんどありませんでした。そのため、この事業を実施するにあたり、地域の参画を得る、ということは、私たちにとって、0を1にする大変な課題でした。しかし、私たちは、「おおとう未来広場」がこの課題を解決するためのチャンスであると捉えました。

この事業がうまく軌道にのれば、つまり、地域住民が子どもたちと関わることに楽しさや生きがいを感じることが出来れば、この事業だけでなく、学校行事や教育課程への地域住民の参画も期待できるのではないかと考えたからです。

## 5. 地域の協力体制

まず、事業を始めるにあたり、地域にこの事業を認めて頂かなくてはならないと考えました。子どもたちの成長を気遣って頂き、また、地域のことを考えて頂ける方に、この事業の仲間となって頂ければ、この事業を継続的に実施できると考えたからです。教育長と教育課長と私は、本町の民生委員、老人会、社会教育委員、商工会などの会長を訪ね、本事業の説明をさせて頂き、賛同して頂くようお願いをしました。大変ありがたいことに、お伺いした全員に賛同して頂き「出来ることがあれば協力する」とお言葉を頂くことができました。



## 6. 地域人材の活用

次に子どもたちと実際に関わって頂く、体験活動の講師の方を探しました。未来広場の柱は、地域の大人たちが見守る中で、子どもたちが放課後に多様な体験活動をする事です。地域の方にお力を貸して頂き、子どもたちにいい体験活動をさせたい。幸い、本町には、絵てがみ、茶道、華道の先生がおり、その先生方に講師をお願いしました。さらに、炭坑の記録写真を撮られている方、植物の研究をされている方もいらっしゃいましたので、その方たちにも講師として来て頂けるようお願いしました。

## 7. プログラムの作成

こうして、最初の「おおとう未来広場」の土台が出来ました。あとは、具体的なプログラムの作成、つまり、体験活動の企画です。企画するにあたって注意したことは、三つあります。

- ① 参加して頂く地域の方の役割が明確であるように企画することです。講師として参加して頂く時、または、見守りに来て頂く時、体験活動の目的を共有し、参加する地域の方にやりがいを感じて頂けるよう気をつけました。
- ② 子どもたちが楽しめる企画にすることです。何よりも楽しい体験をさせたかったので、他の市町村の事例を参考にしたり、インターネットで子ども向けのワークショップについて検索をしたり、教育課内の職員に相談したりして、ハンコ作りや、門松作り体験などを企画しました。
- ③ 活動の中で子どもたちが成長していけるような企画にすることです。ただ楽しいだけの活動ではなく、班で協力して、みんなで仲良く活動できるようにするための時間を設け、班での話し合いや、班で協力して何かをする活動も企画しました。



以上の三つのことに注意しながら、平成27年12月2日～平成28年3月9日の毎週水曜日、計12回の「おおとう未来広場」最初の活動計画を立てることが出来ました。

8. 参加者の募集と事業開始

体験活動や会場となる公民館の会議室の都

合上、30名前後での実施を想定し、大任小学校、今任小学校の1～3年生138名に学校を通じて、募集をかけたところ、42名の応募がありました。想定よりも12名も多い応募でしたが、42名全員に参加してもらい、地域の方と教育課職員の協力のおかげで、無事初めての未来広場を実施することができました。以後、おおとう未来広場は、学期ごとに体験活動を企画し、30名前後の人数で募集を行い、実施しています。

## 9. 事業の成果

現在、大任町に住む8名の方に講師として参加して頂き、5名の方に見守りボランティアとして登録して頂いております。

この事業をやっていて一番うれしいことは、参加して頂く地域の方、講師の先生やボランティアの方から、「昨日、子どもに声をかけてもらったよ。覚えてくれて、うれしかった」という言葉を頂くことです。その言葉を頂く



時、みなさん笑顔でうれしそうに話してくれます。地域の子どもと関わる中で生まれる地域の方の笑顔。それは、子どもたちが地域と繋がったことの証明であり、私自身、その笑顔こそが地域と子どもを繋ぐ最も大切なものではないかと考えています。そして、その言葉と笑顔がこの事業の成果であると私は考えます。

## 10. 今後の課題

この成果をもっと発展させていくために、未来広場と関わる地域の方をさらに増やさなければなりません。それをどう増やしていくかが、今後の課題だと考えています。

そこで、現在行っている3学期のおおとう未来広場で平成29年3月1日に、公民館講座で園芸を勉強されている地域の方と一緒に寄せ植えや鑑賞などをする活動を計画しました。公民館と、そこで行われる公民館活動は、町で一番の地域交流の場であります。そして、それは、子どもたちにとって地域の大人と関わる事が出来る貴重な場所でもあります。



## 11. 子どもの未来と地域の未来

大任町公民館で行うおおとう未来広場の中で、子どもたちが地域の大人が見守る中、楽しく体験活動をし、笑顔になる。それに係る大人たちも笑顔になる。公民館を出て、地域の方が町で子どもたちに会った時、話をして笑顔になる。地域の方が、子どもたちと関わる機会が増えるだけ、地域の方の笑顔が増えていく。

それは素晴らしい地域の未来だと私は考えています。そして、その地域で育つ子どもたちの未来もまた、素晴らしい未来だと私は信じています。

問い合わせ先 田川郡大任町大字大行事 3067 番地

大任町教育委員会学校教育係 TEL 0947-63-3110